



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 リンテック株式会社

コード番号 7966 URL <http://www.lintec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大内 昭彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 小川 純一

TEL 03-5248-7713

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	98,834	2.9	6,762	18.3	6,811	20.9	4,783	16.0
25年3月期第2四半期	96,076	△8.4	5,714	△35.9	5,633	△35.7	4,122	△29.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 10,080百万円 (101.2%) 25年3月期第2四半期 5,009百万円 (△32.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	64.04	63.98
25年3月期第2四半期	55.19	55.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	221,681	152,403	68.3
25年3月期	216,048	143,569	66.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 151,313百万円 25年3月期 142,634百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
26年3月期	—	21.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	10.0	15,000	42.0	15,000	36.6	10,500	36.7	140.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	76,564,240 株	25年3月期	76,564,240 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,870,320 株	25年3月期	1,869,676 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	74,694,305 株	25年3月期2Q	74,695,214 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ(<http://www.lintec.co.jp>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や住宅市場の改善などを背景に緩やかな景気回復が続き、欧州では財政危機起因の景気低迷から持ち直しの動きが見られました。中国などの新興国では内需や輸出が力強さに欠け、成長の減速が続きました。一方、我が国においては、円高是正や株価上昇を背景として、輸出企業を中心とした生産活動の持ち直しや個人消費に改善が見られるなど、緩やかながら景気回復期に入っております。

このような経営環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は98,834百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は6,762百万円（同18.3%増）、経常利益は6,811百万円（同20.9%増）、四半期純利益は4,783百万円（同16.0%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

【印刷材・産業工材関連】

当セグメントの売上高は41,475百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は1,093百万円（同29.6%減）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの状況は次のとおりです。

(印刷・情報材事業)

印刷用粘着製品は国内では医薬、物流関連は堅調であったものの食品用や家電用などが減少し総じて低調に推移しましたが、海外においては中国やインドネシアを中心としたアジア地域で順調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(産業工材事業)

二輪を含む自動車用粘着製品が東南アジア地域で堅調に推移しましたが、ウインドーフィルムや太陽電池用バックシートが低調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ減少となりました。

【電子・光学関連】

当セグメントの売上高は38,332百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は3,012百万円（同78.1%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの状況は次のとおりです。

(アドバンストマテリアルズ事業)

半導体関連粘着製品はスマートフォンやタブレット用の需要効果もあり大幅に伸長しましたが、半導体関連装置はわずかながら減少となりました。また、積層セラミックコンデンサー製造用コートフィルムはスマートフォンやタブレット用の需要効果により堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(オプティカル材事業)

液晶関連粘着製品は国内ではテレビ用が低調であったものの、スマートフォン、タブレット用の需要が増加しました。海外では総じて堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

【洋紙・加工材関連】

当セグメントの売上高は19,026百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は2,701百万円（同10.2%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの状況は次のとおりです。

(洋紙事業)

工業用特殊紙が低調であったものの、カラー封筒用紙がN I S A特需や高付加価値製品の伸長により順調であったことに加え、建材用紙や高級印刷用紙が堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(加工材事業)

航空機用を中心とした炭素繊維複合材料用工程紙やスマートフォン、タブレット用の需要増の影響を受けたF P C用剥離紙が国内外で好調に推移し、中国向け合成皮革用工程紙も順調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は 221,681百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,633百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「現金及び預金」の増加	5,561百万円
・「受取手形及び売掛金」の減少	△1,902百万円
・「たな卸資産」の増加	2,096百万円

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は 69,277百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,200百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「支払手形及び買掛金」の減少	△2,159百万円
・「その他流動負債」の減少	△1,266百万円

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は152,403百万円となり、前連結会計年度末に比べて8,834百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

・「利益剰余金」の増加	3,501百万円
・「為替換算調整勘定」の増加	5,033百万円

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,603	50,164
受取手形及び売掛金	61,791	59,888
たな卸資産	27,531	29,627
その他	4,838	5,038
貸倒引当金	△259	△95
流動資産合計	138,505	144,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,369	27,463
機械装置及び運搬具(純額)	24,405	23,192
土地	10,382	10,542
建設仮勘定	1,023	1,150
その他(純額)	1,734	1,598
有形固定資産合計	64,915	63,947
無形固定資産		
投資その他の資産	3,047	2,938
その他	9,752	10,449
貸倒引当金	△171	△278
投資その他の資産合計	9,580	10,170
固定資産合計	77,543	77,057
資産合計	216,048	221,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,124	40,965
短期借入金	1,430	1,480
未払法人税等	1,931	1,939
役員賞与引当金	46	42
その他	10,378	9,112
流動負債合計	56,911	53,539
固定負債		
退職給付引当金	14,136	14,461
環境対策引当金	132	132
その他	1,297	1,143
固定負債合計	15,566	15,737
負債合計	72,478	69,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,201	23,201
資本剰余金	26,830	26,830
利益剰余金	99,198	102,700
自己株式	△2,752	△2,753
株主資本合計	146,478	149,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	388
為替換算調整勘定	△3,843	1,189
在外子会社年金債務調整額	△213	△243
その他の包括利益累計額合計	△3,843	1,334
新株予約権	113	148
少数株主持分	822	941
純資産合計	143,569	152,403
負債純資産合計	216,048	221,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	96,076	98,834
売上原価	75,587	76,594
売上総利益	20,488	22,239
販売費及び一般管理費	14,774	15,476
営業利益	5,714	6,762
営業外収益		
受取利息	132	125
受取配当金	39	44
固定資産売却益	1	23
為替差益	—	442
その他	142	177
営業外収益合計	315	813
営業外費用		
支払利息	6	7
固定資産除却損	92	54
為替差損	215	—
支払補償費	19	638
その他	63	63
営業外費用合計	396	764
経常利益	5,633	6,811
特別利益		
補助金収入	23	13
特別利益合計	23	13
特別損失		
減損損失	—	155
関係会社株式評価損	25	—
投資有価証券評価損	18	—
特別損失合計	43	155
税金等調整前四半期純利益	5,613	6,669
法人税、住民税及び事業税	1,655	2,204
法人税等調整額	△158	△325
法人税等合計	1,496	1,878
少数株主損益調整前四半期純利益	4,117	4,791
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5	7
四半期純利益	4,122	4,783

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,117	4,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	175
為替換算調整勘定	1,098	5,143
在外子会社年金債務調整額	△3	△29
その他の包括利益合計	892	5,289
四半期包括利益	5,009	10,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,968	9,960
少数株主に係る四半期包括利益	40	119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産業 工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,062	36,565	17,448	96,076	—	96,076
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	9	8,206	8,226	△8,226	—
計	42,072	36,575	25,654	104,302	△8,226	96,076
セグメント利益	1,552	1,691	2,450	5,694	20	5,714

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産業 工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,475	38,332	19,026	98,834	—	98,834
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12	3	7,343	7,358	△7,358	—
計	41,487	38,335	26,370	106,192	△7,358	98,834
セグメント利益	1,093	3,012	2,701	6,807	△44	6,762

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。